

第1回地域包括支援センター運営協議会（書面会議）における
 意思表示並びに意見に関する報告及び回答について

1. 第1回地域包括支援センター運営協議会（書面会議）議事に関する意思表示について

令和2年度長浜市地域包括支援センターの実績、取組状況等について書面による報告を受け、長浜市地域包括支援センターの運営が適正に実施されていること、及び令和3年度運営方針、取組計画については、委員15人全員のみなさまから「承認する」との意思表示をいただきました。

2. 書面会議資料にかかる意見に関する報告及び回答について

委員のみなさまからご提出いただきましたご意見につきましては、下記のとおり報告及び回答いたします。

	資料名	意見	回答
資料 1-1	令和2年度長浜市地域包括支援センター実績報告（令和2年4月～令和3年3月）	コロナ禍の中でもZoom、Webを活用して充実した研修、会議が行われていると感じました。	今後も感染予防対策を図りながら、Web環境を活用した効率的な研修や会議が開催できるよう努めてまいります。
資料 4	令和3年度長浜市地域包括支援センター基本方針 重点的に取り組むこと	個別事例を通して積み上げられた地域課題の中で、不足している社会資源はどのように作っているのですか。また、社会資源はどのように周知しているのですか。	生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、市健康推進課、当課職員が参加しています地域専門職連携会議で地域の社会資源の集約、新たなサービス創設等資源開発の検討や提言を行っています。 介護支援専門員が社会資源を活用したケアプランを作成できるよう地域ケア会議を活用して社会資源の情報提供を行っています。また、新たな社会資源の情報については、地域包括支援センター発行のたよりや、居宅介護支援事業所研修会での周知を行っています。今後、長浜米原地域医療支援センターのホームページへの掲載も検討しています。
資料 5	令和3年度長浜市地域包括支援センター基本方針、取組状況	コロナ禍であるため、対面、活動の制限がある中、各地域包括支援センターとも工夫をして取組を行われていると思います。	コロナ禍における高齢者のフレイル予防や社会参加の必要性、また地域での見守り等現状に応じた支援ができるよう、地域の関係機関や民生委員、自治会等とネットワークを図りながら取組んでまいります。

	資料名	意見	回答
資料 7	地域包括支援センターのネットワーク活動及び取組について	地域包括支援センターのネットワーク活動に高齢者や高齢者を抱える家族が参加し、支援の必要な方を早めに発見していければ良いと思います。	地域包括支援センターが、地域の会合や行事などへ参加し、地域包括支援センターの目的や機能を知ってもらうことで、地域の方が抱えているニーズが早期に寄せられるよう、地域のネットワーク活動に高齢者やその家族が参加しやすい環境づくりに継続して取り組んでまいります。
資料 8	令和2年度地域専門職連携会議における主な取組について	孤立やつながりの希薄など、どの地域にも共通する課題であり、創意工夫された取組がされ素晴らしいと思いました。全ての地域包括支援センターが掲載されていない点が気になります。	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、地域での取組に制限を受けたこともあり、取組ができない地域包括支援センターがありました。今後は、感染予防を図りながら地域が抱える課題について地域に働きかける取組を実施してまいります。
その他		介護は人と密接に接することが基本です。介護は先が見えず大変ですが、地域包括支援センターの充実が助けになると思います。	地域の介護サービス事業所、医療機関、民生委員等の支援者から、助けを必要としている本人や介護で困っている家族の情報を得ることで、早期の対応に繋げることが出来ます。 今後も地域包括支援センターと地域の様々な支援者との、顔の見える相談しやすい体制づくりに努めてまいります。